

現在、当院の心臓血管内科 冠疾患科・心臓血管系集中治療科、および下記共同研究施設の循環器内科に入院された患者様を対象として、保管している診療後の診療情報を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、研究対象者の方の同意が得られていませんが、センター倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身またはご家族の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。お申し出による不利益は一切ありません。

#### 【研究課題名】

心筋梗塞の原因となる不安定プラークの形成機序解明・治療標的特定を目指した研究

#### 【研究対象者】

2000年1月～2024年12月までの間に、当院心臓血管内科、獨協医科大学付属病院心臓・血管内科、榊原記念病院循環器内科、宮崎県群医師会病院循環器内科、熊本大学附属病院循環器内科、近森病院循環器内科、沖縄県立中部病院 循環器内科、札幌医科大学附属病院 循環器・腎臓・代謝内分泌内科、大阪医科薬科大学循環器内科にて冠動脈疾患（急性心筋梗塞、狭心症、無症候性心筋虚血）と診断され、経皮的冠動脈形成術を受けられた方

#### 【利用している診療情報等の項目】

（診療情報等）診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、併存疾患名、血液（血算・コレステロール値・腎臓機能・糖尿病関連指標）尿検査データ、冠動脈造影所見を含めた画像診断（血管内超音波検査、光干渉断層計、スペクトロスコピー、血管内視鏡、MRI、核医学検査、CT）、冠循環生理学的指標（冠血流予備能比、冠血流予備能、安静時血流指標）、内服薬、冠動脈疾患に対する各種治療内容、退院後の予後

#### 【利用の目的】（遺伝子解析研究：無）

心筋梗塞を発症させる狭窄病変の特徴・機序解明や、発症予防につながる新しい治療法を明らかにすることを目的としています。

#### 【利用期間】

2022年12月31日までの間（予定）

#### 【共同研究機関・研究者】

上記のカルテ情報を、次の研究機関と共有して、共同で研究を進めます。

獨協医科大学付属病院心臓・血管内科 講師 金谷 智明

榊原記念病院循環器内科 循環器内科 副部長 高見澤 格

宮崎県群医師会病院循環器内科 医長 西平 賢作

熊本大学附属病院循環器内科 教授 辻田 賢一

近森病院循環器内科 科長 細田 勇人

沖縄県立中部病院 循環器内科 医長 屋宜 宣仁

札幌医科大学附属病院 循環器・腎臓・代謝内分泌内科 講師 國分 宣明

大阪医科薬科大学 循環器内科 助教 宍倉 大介

#### 【この研究での診療情報等の取扱い】

センター倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

本研究で得られた情報を将来、他の研究等の目的で二次利用する可能性や、研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。二次利用する際に文書を公開する場合は、国立循環器病研究センター 公式サイト

(<http://www.ncvc.go.jp>) の「実施中の臨床研究」のページに掲載いたします。

#### 【研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者】

研究責任者：心臓血管内科 冠疾患科・心臓血管系集中治療科○医長 片岡 有

お問い合わせ：心臓血管内科 冠疾患科・心臓血管系集中治療科○医長 片岡 有

電話：06-6170-1070（代表）、ファックス：06-6170-1782、E-mail: [yu.kataoka@ncvc.go.jp](mailto:yu.kataoka@ncvc.go.jp)